

平成30年度 学長戦略経費（公募型プロジェクト）研究成果概要報告書

経費の種類	<input type="checkbox"/> 共同研究推進 <input type="checkbox"/> 若手教員研究支援 <input checked="" type="checkbox"/> 個人研究支援 <input type="checkbox"/> 研究推進重点設備 <input type="checkbox"/> 研究推進設備修繕
プロジェクトの名称	保護者支援の悩みを語る～異世代学校教師たちの交流型ワークショップの開発
報告者氏名・所属・職名	植木克美・大学院学校臨床心理専攻・教授
プロジェクト担当者氏名・所属・職名	植木克美・大学院学校臨床心理専攻・教授

研究内容及び成果の概要

本研究では、今日的教育課題の1つである保護者支援について異世代教師たちの学び合いをサポートするための経験交流型ワークショップを開発、パッケージ化を進め、学び続ける教師の研修に資する現職教育に取り組みました。

【ワークショップのねらい】

異世代教師が経験を交流し合い、参加者それぞれが自分の課題に主体的に向き合える、語り合いの活動となるワークショップを開発することをねらいとしました。特に、異世代教師たちが互いに保護者支援の経験を安心して語り合えるワークショップとなることを大切に、次の3つをワークショップの目的としています。①保護者支援の経験を異世代教師と交流する、②異世代の教師が抱える保護者支援の課題を理解する、③これからの保護者支援について展望をもつ、の3つです。

【ワークショッププログラム】

- ① オープニング（15分） 趣旨説明、グループづくり
- ② 自己紹介（20分） グループごとに自己紹介
- ③ 保護者支援の経験のふりかえりシート記入（15分） 個人作業
☆ 休憩 ☆（10分）
- ④ 1ラウンド 保護者支援の経験交流（15分） 一人目の語り
- ⑤ 2ラウンド 保護者支援の経験交流（15分） 二人目の語り
- ⑥ 3ラウンド 保護者支援の経験交流（15分） 三人目の語り
- ⑦ 4ラウンド 保護者支援の経験交流（15分） 四人目の語り
- ⑧ グループ内での全体交流（15分）
- ⑨ 経験交流のふりかえりシート記入（10分） 個人作業
- ⑩ 経験交流の分かち合い（30分）
- ⑪ クロージング（10分） グループからの報告

<経験交流のふりかえりシート>

- ①どれ程、自分の経験を伝えることができましたか。
- ②どれ程、他の先生の話をお聴くことができましたか。
- ③どれ程、他の先生に自分の経験を聴いてもらえたと思いますか。
- ④他の先生たちの経験を聴いて、どのようなことを考えましたか？
- ⑤保護者支援で、これから大切にしていきたいことはどんなことですか？
- ⑥後輩の先生に保護者支援についてアドバイスしたいことはどんなことですか？
- ⑦その他、経験交流の感想を自由に書いてください。

【ワークショップ参加者のアンケート結果】

平成29年度及び平成30年度にワークショップを4回実施しています。第1回ワークショップ参加者のアンケート結果は、6点満点のところ、異世代教師の保護者支援における課題を理解できたか「5.7点」、保護者支援の経験交流をできたか「5.9点」、今後の保護者支援について展望をもてたか「5.7点」でした。第2回以降のワークショップでも同様の結果が得られています。

【ワークショップ開発の成果】

ワークショップの成果は3点あります。第1に、保護者支援の経験について異世代教師たちが交流を深めたことです。若手教師にとっては、先輩教師からアドバイスをもらえる場となり、先輩教師にとっては、若手の悩みを理解し、自分の経験をふりかえるという学びの場になっていることがわかりました。第2に、教師たちはワークショップを「あたたかい」「楽しい」という肯定的感情によって認識していることがわかりました。このことから、安心して語り合える場にワークショップがなっていたことがわかります。そして、第3が「自由に話し合える雰囲気がありとても良かった」という主体的対話が促進されるワークショップになっていたことです。

これらの成果をもたらしたのは、「流れがとても整理されていて、話が深まった」と評されたプログラムにあると考えました。また、世代が異なり保護者支援で異なった経験をしている教師たちが対等に共通の観点で語り合えるツールとして、経験の内容を整理するシートを活用したのが効果的であったと考えます。

成果の公表の状況

■ワークショップ手引き 保護者支援の経験交流会編 『異世代教師連携による保護者支援を語るワークショップ』 2019年3月発刊 33ページ

教育現場で活用可能な分野・教材等

世代の異なる先生方で保護者支援について経験を交流するワークショップを、校内研修や研究会で実施いただくことができます。

配布又はダウンロード可能な資料

ワークショップの手引き『異世代教師連携による保護者支援を語るワークショップ』をご希望の方は郵送させていただきます。下記の問い合わせ先までご連絡ください。

問い合わせ先

代表者： 植木克美
電 話： 011 - 778 - 0666
FAX : 011 - 778 - 0666
mail : ueki.katsumi@s.hokkyodai.ac.jp